

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 7-1 . 7-2 . 局・課名： 総務局・情報化推進課

事業名	行政情報化推進事務	事業費(千円)			
		平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
		1,478,259	2,031,805	1,792,686	
事業概要	【目的】	期間		要求額(千円)	
	庁内ネットワーク・共通基盤システム・情報システム統合基盤といった本市の行政サービスの提供に必要な基盤システム等を、セキュリティを十分に確保した安全な状態で安定的に稼働させること及び先進ICTの活用等により、行政運営の信頼性を確保しつつ業務の効率化を図るとともに、市民サービスの向上と職員の業務負担の軽減に資することを目的とする。	R2 ~ R3		20,000	
	【内容】	(単位:千円)			
	○情報システムの最適化 ITガバナンスの強化・推進により、行政情報化の一層の進展とサーバ機統合等の情報システム全体の最適化を推進し、より効率的かつ適正な経費によるシステム構築と運用をめざす。	主な要求内容			
	○市民の利便性向上 電子申請システム、統合型GISサービス、施設予約システム等の行政サービスを提供し、市民の利便性と安全性を向上させる。	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等
	○働き方改革 AI・RPA等の先進ICTの活用をはじめ庁内LANの無線化を実施し、更なる業務効率化を図る。	①社会保障・税番号制度への対応	53,871	28,880	中間サーバー・プラットフォームの利用に係る交付金など
	○情報セキュリティ対策の強化 個人情報に代表される重要データの保護をはじめ、日々新たに発生する標的型攻撃等の様々な情報セキュリティリスクに対応するため、人的・技術的・物理的対策に不断に取り組む、情報セキュリティを強化する。	②情報システム統合基盤の展開	202,668	287,432	機器等の借上げなど
	【今年度要求のポイント】	③庁内LANの保守	667,519	558,942	庁内LANの保守、機器の借上げなど
	○堺市本庁舎の庁内LANの無線化 ○AI議事録の導入、RPAやモバイルワークの更なる庁内展開 ○ICTを活用した区役所業務効率化計画の策定 ○第二期システム統合基盤、第三次統合運用業務などによる情報システムの最適化 ○情報セキュリティ対策の維持・向上	④共通基盤及び税システムの保守	555,665	321,902	システムの保守、機器の借上げなど
		⑤基幹システム統合運用	123,157	125,400	項目②～④のシステムの運用委託など
	⑥市民向け行政サービスの提供	29,236	30,555	電子申請・施設予約システム利用料など	
	⑦通信回線及びサーバ等費用	163,238	154,895	機器等の借上げ及び通信回線など	
	⑧情報セキュリティ強靱化対策	212,248	192,827	顔認証等セキュリティ対策機能の運用など	
	⑨新たなICTの活用	11,537	76,558	AI議事録、RPA、モバイルワーク検証、区役所業務効率化など	
	その他	12,666	15,295		
	合計	2,031,805	1,792,686		
	スケジュール(経過及び今後展開)				
	【経過(～元年度)】	【2年度】	【今後予定(3年度～)】		
	・情報セキュリティ対策強化 ・第二期統合基盤対応 ・社会保障・税番号制度対応	・情報セキュリティ対策強化 ・庁内ネットワーク再構築 ・先進ICTの導入・展開	・情報セキュリティ対策強化 ・庁内ネットワーク再構築 ・先進ICTの導入・展開		
	その他 特記事項				
	関連事業: 社会保障・税番号制度推進事業				